

年 月 日	事 柄
平成 4. 4. 1	第1代校長 太宰 達郎
4. 3	児童受入式（広瀬小学校より378名移籍）
4. 6	開校式（仙台市立119番目の学校）
4. 8	第1学期始業式（2～6年402名） 第1回入学式（新入学児童109名）
6. 7	開校記念大運動会 開校記念日制定（6月7日） 校木「栗」・校花「菜の花」制定
8. 29	プール落成式 校庭掘削工事開始（～9/10）
10. 9	仙台市音楽発表会（4年3組出演）
10. 21	「よい歯の学校」表彰（宮城県学校歯科医師会）
12. 9	校歌制定披露及び記念コンサート（山形交響楽団）
平成 5. 3. 18	日本庭園完成
3. 19	第1回卒業式（卒業児童66名）
平成 5. 4. 8	第1学期始業式（2～6年467名） 第2回入学式（新入学児童102名）
4. 15	平成4年度分植栽工事終了（校舎西～南～通用門）
10. 23	「よい歯の学校」表彰（宮城県学校歯科医師会）
12. 9	児童会の歌制定発表会
平成 6. 3. 18	第2回卒業式（卒業児童67名）
平成 6. 4. 8	第1学期始業式（2～6年554名） 第3回入学式（新入学児童120名）
5. 12	仙台市青葉区宮城地区総合防災訓練会場
8. 27	「よい歯の学校」表彰（宮城県学校歯科医師会）
11. 9	仙台市緑と花いっぱい花壇コンクール優秀賞（仙台市）
11. 22	宮城県学校花壇コンクール優秀賞（県緑の会） 読売新聞社賞（読売新聞社）
平成 7. 3. 10	栗の実児童会シンボルマーク制定披露
3. 17	第3回卒業式（卒業児童108名）
平成 7. 4. 1	第2代校長 鹿野 昌行
4. 8	第1学期始業式（2～6年568名） 第4回入学式（新入学児童133名）
4. 27	宮城県学校花壇コンクール入選（宮城県知事より）
7. 27	仙台市小学校体育大会水泳記録会第2地区大会会場校
9. 2	「よい歯の学校」表彰（宮城県学校歯科医師会）
平成 8. 3. 19	第4回卒業式（卒業児童101名）
平成 8. 4. 8	第1学期始業式（2～6年568名） 第5回入学式（新入学児童119名）
7. 8	西側3教室（1～3階）増築工事着工
9. 7	「よい歯の学校」表彰（宮城県学校歯科医師会）
平成 9. 2. 28	西側増築部分竣工検査終了
3. 19	第5回卒業式（卒業児童103名）
平成 9. 4. 8	第1学期始業式（2～6年586名） 第6回入学式（新入学児童125名）
4. 17	「子供110番の家」設置（学区内9カ所）
12. 10	防災備蓄倉庫設置（600人、一日分食備蓄可能）
平成10. 1. 21	東北工業大学強震計設置（平成10年に向け、愛子付近を震源とした地震が頻発）
3. 19	第6回卒業式（卒業児童120名）
平成10. 4. 1	第3代校長 松浦 順一
4. 1	「いじめ・登校拒否問題対策推進協力校」の指定を受ける（仙台市教育委員会）
4. 8	第1学期始業式（2～6年588名） 第7回入学式（新入学児童127名）
9. 1	ボランティア協力校（仙台市福祉協議会）
9. 27	宮城県学校花壇コンクール優良賞・鈴木長治賞受賞（宮城県緑の会）
平成11. 2. 19	太陽光パネル・太陽光発電設備設置
3. 19	第7回卒業式（卒業児童109名）

平成11.	4. 1	情緒障害学級（菜の花学級）設置
	4. 8	第1学期始業式（2～6年597名） 第8回入学式（新入学児童122名）
	5. 20	全国小・中学校 PTA 広報誌コンクール奨励賞（日本 PTA 全国協議会主催）
	5. 24	PTA 広報誌「木もれび」金賞受賞（仙台市 PTA 協議会）
	9. 11	東北 PTA 連絡協議会表彰（日本 PTA 全国協議会東北ブロック大会）
	11. 25	宮城県学校花壇コンクール優良賞・鈴木長治賞受賞（宮城県緑の会）
平成12.	1. 27	みやぎ花いっぱいコンクール学校の部優秀賞受賞（宮城県緑の会）
	3. 17	第8回卒業式（卒業児童106名）
平成12.	4. 10	第1学期始業式（2～6年613名） 第9回入学式（新入学児童104名）
	6. 8	校地西側増築改修工事開始（～9月下旬）
	11. 7	宮城県健康教育素員学校として表彰
	11. 20	校地造成工事開始（体育館東側の雑木林なくなる 平成13. 3月終了）
平成13.	3. 17	第9回卒業式（卒業児童126名）
平成13.	4. 1	第4代校長 佐藤 達
	4. 9	第1学期始業式（2～6年583名） 第10回入学式（新入学児童117名）
	6. 11	学校評議員会発足
	6. 19	10周年記念事業実行委員会発足
	8. 20	校舎増築工事開始（第2音楽室・視聴覚室・生活科室・教材室・ピロティ等）
	9. 1	栗っこネットワーク10周年記念「栗っこまつり」開催
	9. 1	口腔衛生の向上に努力したとして表彰（県歯科医師会）
	9. 5	共同募金運動の推進に寄与したとして表彰（仙台市教育委員会）
	12. 21	父母教師会教育功績者表彰（仙台市教育委員会）
平成14.	3. 19	第10回卒業式（卒業児童116名）
平成14.	4. 1	校舎増築棟使用開始
	4. 8	第1学期始業式（2～6年592名） 第11回入学式（新入学児童130名）
	6. 1	10周年記念式典 記念音楽会（広瀬中・広瀬高校吹奏楽部） 祝賀会開催
平成15.	1. 7	学校敷地の拡幅工事開始（西部地区区画整理事業による）
	2. 8	10周年記念事業『ピオトープのある観察の森「くりりん」』工事開始
	3. 19	第11回卒業式（卒業児童122名）
	3. 28	観察の森「くりりん」完成・引渡
	3. 31	学校敷地の拡幅工事終了（東側・南側・西門付近が広がる）
平成15.	4. 8	第1学期始業式（2～6年607名） 第12回入学式（新入学児童117名）
	4. 9	「くりりん」オープンセレモニー
	5. 31	「ピオトープ研究会」発足・総会開催
	7. 3	全校児童の航空写真撮影（開校10年経過・校舎全景と全校児童）
	8. 30	第1回環境スクール実施（「くりりん」会場）
	11. 19	父母教師会優良団体として表彰（日本 PTA 全国協議会）
	11. 22	「PTA のつどい」開催
平成16.	3. 19	第12回卒業式（卒業児童120名）
平成16.	4. 1	第5代校長 佐藤 隆雄
	4. 8	第1学期始業式（2～6年589名） 第13回入学式（新入学児童116名）
	7. 24	初の PTA 夏祭り開催（栗っこネットワーク・ピオトープ研究会・地域住民協力）
	10. 8	「地域で輝く学校づくりプラン」推進モデル校指定（仙台市教育委員会）
平成17.	3. 18	第13回卒業式（卒業児童120名）
平成17.	4. 8	第1学期始業式（2～6年578名） 第14回入学式（新入学児童118名）
	11. 22	父母教師会文部科学大臣賞受賞
平成18.	2. 11	「くりりん」日本生態系協会会長賞受賞（全国学校ピオトープコンクール2005）
	3. 17	第14回卒業式（卒業児童115名）

平成18.	4.	10	第1学期始業式(2~6年585名) 第15回入学式(新入学児童118名) 「スクール・エコプラン省エネ還元事業」指定校 (仙台市教育委員会 平成18・19・20年度)
	11.	1	
	12.	4	緊急連絡システム導入(一斉メール配信)
平成19.	3.	20	交通安全表彰 第15回卒業式(卒業児童115名)
平成19.	4.	1	第6代校長 池田 和子
	4.	1	「命の大切さを学ばせる体験活動推進校」指定(文部科学省 平成19・20年度)
	4.	9	第1学期始業式(2~6年584名) 第16回入学式(新入学児童127名)
	9.	29	「よい歯の学校」表彰(宮城県歯科医師会)
	10.	30	「栗生小学校ピオトープ研究会」緑の都市賞緑の拠点づくり部門国土交通大臣賞受賞
平成20.	3.	19	第16回卒業式(卒業児童124名)
平成20.	4.	1	「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校(文部科学省)
	4.	8	第1学期始業式(2~6年606名) 第17回入学式(新入学児童116名) 「よい歯の学校」表彰(宮城県歯科医師会)
平成21.	2.	6	「英語活動拠点校」公開研究会(188名参加)
	3.	19	第17回卒業式(卒業児童114名)
平成21.	4.	1	第7代校長 熊本 清孝
	4.	1	「外国語活動における教材の効果的な活用 及び評価の在り方等に関する実践研究事業」実践研究校(文部科学省)
	4.	8	第1学期始業式(2~6年601名) 第18回入学式(新入学児童133名)
	10.	18	河北新報 仙台市姿勢120周年・政令指定都市20周年記念企画 「百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン」に『くりりん』掲載
	3.	19	第18回卒業式(卒業児童117名)
平成22.	4.	8	第1学期始業式(2~6年607名) 第19回入学式(新入学児童90名)
	23.	3. 11	東北地方・太平洋沖地震発生(14時46分) 避難所, 給水所開設
		25	第19回卒業式(卒業児童122名) ※震災による臨時休校のため延期して実施
平成23.	4.	1	第8代校長 長谷 一哉
	4.	11	第1学期始業式(2~6年607名) 第20回入学式(新入学児童117名) ※震災による臨時休校のため延期して実施
	5.	2	2~6年普通授業開始, 全校普通給食開始 ※震災の影響により簡易給食
	11.	17	「命の授業」講師: 腰塚勇人氏 ※青葉区PTA連合会研修交流委員会共催
	24.	3. 19	第20回卒業式(卒業児童117名)
平成24.	4.	8	第1学期始業式(2~6年591名) 第21回入学式(新入学児童126名)
	7.	19	開校20周年記念 航空写真撮影
	10.	11/12	開校20周年記念行事 キリンスマイルフィールド開催(4~6年児童参加)
	10.	13	開校20周年記念式典
	25.	3. 19	第21回卒業式(卒業児童124名)
平成25.	4.	8	第1学期始業式(2~6年601名) 第22回入学式(新入学児童129名) 仙台市青葉区人権教育推進校(人権の花運動, 高学年での人権教室実施) 全国小・中学校PTA広報誌コンクール奨励賞(日本PTA全国協議会主催)
	26.	3. 19	第22回卒業式(卒業児童119名)
平成26.	4.	1	第9代校長 佐藤 朗
	4.	8	第1学期始業式(2~6年602名) 第23回入学式(新入学児童122名) 「どんぐりから苗木1本運動」記念植樹 ボランティア委員会が協力を呼び掛けて集まったアルミ缶の収益金で車椅子購入 全国小・中学校PTA広報誌コンクール奨励賞(日本PTA全国協議会主催)
	27.	3. 19	第23回卒業式(卒業児童128名)

平成27.	4.	8	第1学期始業式（2～6年596名） 第24回入学式（新入学児童117名）
	6.	12	仙台市宮城地区総合防災訓練
	1.	8	防災対応型太陽光発電システム設置工事完了
平成28.	3.	18	第24回卒業式（卒業児童98名）
平成28.	4.	1	特別支援教育実践研究協力校（仙台市教育委員会）
	4.	8	第1学期始業式（2～6年603名） 第25回入学式（新入学児童130名）
			全国小・中学校 PTA 広報誌コンクール奨励賞（日本 PTA 全国協議会主催）
平成29.	3.	17	第25回卒業式（卒業児童118名）

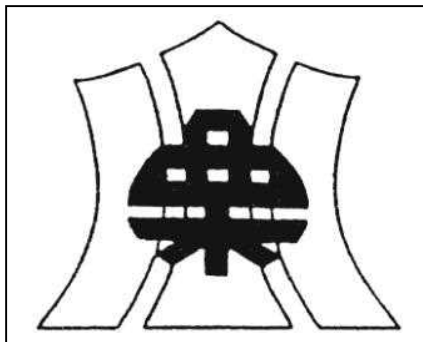
校章と校歌について

校章について

平成3年11月30日制定

図案考案者：三塚 孝一氏

図案補作者：佐藤 康也氏（元広瀬小学校長）



秀麗の山「蕃山」は、東から「蕃山」「西風蕃山（ならいばんざん）」「蛇台蕃山」の3つの嶺が連なっている。多くの伝説を今に秘め、変わらぬ姿を広瀬川の川面に映し、四季の変化を心にともして、新生栗生小学校の隆盛を見守っている。

校章は、蕃山の3つの嶺と小学校を象徴する小の頭文字を背景に、字体の流れは広瀬川を、中心には、栗の実を象った「栗」の字を配してデザインされた。

校歌について

校歌 「みどりのいのち」

平成4年12月9日制定

校歌作詞者：吉田 秀三氏

校歌作曲者：三浦 節夫氏

『校歌作詞にあたって』（吉田 秀三氏）

仙台市の名勝蕃山のふもと、みどり豊かな栗生に生まれた小学校の校歌として「みどりのいのち」をテーマにして作詞しました。第一連は、伊達家の由緒「青葉城」を思いながら蕃山の重厚な姿を背景に、若々しい栗生の子らが元気いっぱい体を鍛えていくことを歌いました。第二連は、仙台の母なる川「広瀬川」に映る星空に、友人とともに知恵を開き、世界に向かってあたたかな心をもって生きて欲しいと願って作詞しました。これはともに本校の教育目標を詩に歌っています。どうか学校の皆さんとともに学区・地域の皆さんが校歌を愛し、豊かな心で健康に生きる希望をもって進まれることを願っています。

『校歌作曲にあたって』（三浦 節夫氏）

曲は歌詞をもとにイメージされます。吉田先生の詩は、簡潔な表現の中に深みと温かさがあり、さらには躍動するリズム感と格調の高さがあります。作曲にあたっては、詩の心を大切に、新生栗生小学校に学ぶ児童の皆さんの健やかな成長と本校の限らない発展を念しながら、歌い易さを基本に明るく伸び伸びとした曲想にまとめました。蕃山にこだまし、広瀬の川面に響き渡る高らかな歌声とともに、力を合わせて元気にお進みください。

みどりのいのち(校歌)

作詞 吉田 秀三

作曲 三浦 節夫

一 青葉かがやく蕃山の

はるかな空よ朝風に

強く鍛えようみどりのいのち

若いこだまの歌はずむ

未来へ進む栗生のこども

あかるい虹の希望もとめて

二 夕べきらめく広瀬川

やさしい友よ愛の星

知恵をひろげよう

みどりのいのち

夢晴れやかに肩組んで

世界へ進む栗生のこども

はばたく翼あしたを学ば



校木と校花について

校木について

校木「栗の木」



栗生の地名の謂われにはいろいろな言い伝えがあり、定義がないようだが、その昔、下愛子郷蕃山の麓、西館周辺に栗林が広がっていたので、「栗生」という地名がつけられた、という説が有力なようである。

古く江戸時代の文献には、既に「栗生」の地名が見受けられる。秋には栗の実拾い。子どもたちが拾った栗の実は、いろいろな方法で食卓を飾ったことであろう。このように、栗の木は、栗生の里では昔から人々に親しまれてきた。

栗の木は、材質が堅いので家の土台や線路の枕木等に使われている。人の目に触れないところで、ひっそりとしっかりと役に立っているという素晴らしい木である。地味ながら、しっかりと世の中の役に立っている栗の木。栗生の子どもたちにも、そんな栗の木のような立派な人間になってほしい、と願いを込めて、校木を「栗の木」とした。

校花について

校花「菜の花」

一度折れた茎からまた芽を出して花を咲かせる強い生命力あふれるこの花に、失敗を恐れず何事にもくじけない子どもになってほしい、という願いを託した。

春になると校庭の周りに黄色い花がいっぱいに咲いている明るいイメージは「栗っこ」にふさわしい。

